考え、話し、変われる日本へ。だれひとり取り残さない

立憲民主党
埼玉県第1区総支部長
たけまさ 公一

立ち止まって考えよう。見直そう。

１０月１３日埼玉県議会本会議で「子ども放置」禁止条例は撤回されました。県民の声で「非常識で」「頭にくる」と言われた条例をやめさせることができました。県議会でできたこと、国会でもできるはずです。

岸田総理は、税収が増えたから「国民への還元」として所得税減税等を示しました。しかし、防衛予算増額や子供子育て予算の増額分の財源は示しません。

臨時国会中の衆議院解散が取りざたされる中、年末の増税を控えて、減税を掲げて選挙を行うことは「増税隠し」の選挙戦略にも見えます。

国民に正直に政府が情報を開示することが当たり前になるには、与野党の競り合いが必要です。立憲民主党に、そしてたけまさ公一にお力を貸してください。

あらためて、コロナ禍３年間になされた決定は、「来秋の健康保険証廃止」等、一度立ち止まって考え、見直してはどうでしょうか。

立憲はインフレ手当３万円。ガソリン２５円減税。

岸田政権の所得税減税では来年６月になってしまうので、**立憲民主党は即効性のあるインフレ手当３万円を中間層を含む６割の世帯に給付することなど、「物価高を克服するための緊急経済対策」を提案しました（裏表紙）。**

ガソリン高騰対策の補助金はすでに６兆円が使われています。補助金のあり方も見直しが必要です。なにより、円安が放置容認されていることから、その是正がガソリンを含め物価高騰対策の最重要課題です。金融政策の見直しが必要です。

「税収が増えたからバンバン使えばよい」との発言も政府から聞こえます。今回の減税と合わせて、**「持続的な経済と財政」へ転換が必要です。右にあるような提案をたけまさ公一はまとめました。ご覧ください。**

持続可能な経済と財政に

以下の８項目が必要であると掲げ、求め実現します。詳しくは、たけまさ公一の政策（https://takemasa-k.jp）をご覧ください。

1，給与引き上げ

- 30年間初任給横ばい、役員報酬1.6倍の格差解消
- 最低賃金1500円目標など国全体での底上げを

2，物価高騰対策

- 金融政策の見直し（金利のある経済へ正常化させる）
- 円安是正で輸入物価を下げ、金利で年金運用の安定化
- 食と農の安全確保のため、農業者戸別所得補償を再開

3，中小企業支援（全雇用者の7割が勤務）

- 中小企業従業員の給与引き上げを徹底サポート
- 経営負担にならないように法定福利費の補助を
- 中小企業がお金を借りやすく（短期融資等）

4，教育・再教育支援

- 社会人学びなおし（リスキリング）に専門高校の活用を
- 子供のころから職業教育を、学校に専門家を派遣
- 教育の無償化（給食、高校生の医療費、大学奨学金等）

5，イノベーション

- 多様性重視（脱たこつぼ社会、外国人との共生）
- 研究開発補助（ポストドクター解消、大学改革）
- 規制改革（例、20年を要した電波オークション）

6，DX（デジタル）GX（グリーン）

- デジタル化と個人情報保護の両立を図る
- 酷暑にはサマータイム、シエスタ導入も

7，権限財源の分権

- 予算を使う場所に権限財源を移し、有権者がチェック
- 行財政改革の徹底継続、お金の使い方、補助金正常化

Takemasa Report No.256（B）　2023.11.10　立憲民主プレス号外編集部 埼玉県第１区総支部発

立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Japan　埼玉県第１区からのお知らせ

物価高を克服するための 緊急経済対策

1. 家計への直接支援 ―暮らしを支え、経済再生
2. 事業者への直接支援 ―雇用・生業を守り抜く
3. 省エネ・再エネへの大胆投資 ―「危機（ピンチ）」を「好機（チャンス）」に構造転換

立憲民主党公式サイトでさらに詳しく↓

立憲民主党 5つの重点政策

1. 児童手当拡充（所得制限をなくし、高校卒業年次まで一律 15000円を給付）
2. 教育の無償化(幼児教育・保育から高等教育まで)と公立小中学校の給食の無償化
3. 保育士配置基準の見直しと給特法の抜本的見直し
4. 賃上げの加速と不本意非正規雇用者を減らしていく
5. 若年カップルや子育て世代も利用できる 新たな家賃補助制度の創設

立憲民主党埼玉県第１区メンバー（敬称略）

野本怜子
浦和区県議

武田和浩
見沼区県議

添野ふみ子
浦和区市議

堤日出喜
緑区市議

三神尊志
見沼区市議

佐々木郷美
見沼区市議

たけまさ(武正)公一 埼玉県第１区総支部長

1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが、チャレンジを。

立憲民主党埼玉県第１区総支部
たけまさ公一事務所
〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
TEL 048-832-3810　FAX 048-832-3846　voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！**たけまさ**で検索！

takemasa-k.jp
たけまさ公一公式サイト